

相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	当院におけるパーキンソン病患者の重症度、運動機能と栄養状態の 関連性 (承認 No. 2025-121)
当院の研究責任者 (所属・職名・氏名)	脳卒中脳神経リハ科 理学療法士 鹿川 彰文
他の研究機関および 各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	<p>理学療法ガイドラインでは運動療法の必要性は強く述べられており、筋力トレーニングの効果については軽度から中等度のパーキンソン病患者さんでは、漸増抵抗運動によって筋力の増加と歩行能力が改善することが示されています。</p> <p>しかし、栄養状態に関する十分な科学的検証は乏しく、パーキンソン病ガイドライン 2018 においても、「栄養指導に関しては過度なたんぱく質摂取制限により低栄養状態とならないように注意が必要」との記載に留まっています。</p> <p>本研究ではパーキンソン病患者さんの重症度、運動機能と栄養状態の関連性を検討することで、パーキンソン病患者さんの内服や運動だけでなく食事（栄養状態）まで考慮した包括的な支援の一助になると考えています。</p>
調査データ 該当期間	2020 年 4 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	<p>●対象となる患者さん 上記期間内にパーキンソン病の治療にて入院され、当院でリハビリテーションを行い、歩行介助の必要がない方</p> <p>●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録（年齢、性別、運動機能、パーキンソン病分類、栄養評価、運動機能（UPDRS partⅢ、TUG、10m 歩行）、栄養評価（GLIM 指標）、内服状況、藤島嚥下グレード、リハビリ実施単位数）</p> <p>●研究期間：2026 年 3 月 27 日～ 2026 年 5 月 30 日</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません
個人情報の取り扱い	利用する情報から個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません

様式 16

お問い合わせ先	相澤病院 脳卒中脳神経リハ科 理学療法士 鹿川 彰文 Tel : 0570-03-3600(代表)
備考	